

令和02年12月11日

社会資本総合整備計画														社会資本整備総合交付金															
計画の名称		上之地区都市再生整備計画																											
計画の期間		令和03年度～令和07年度（5年間）																				重点配分対象の該当							
交付対象		熊谷市																											
計画の目標		大目標 良好な宅地の利用増進																											
		小目標 災害に強いまちづくりを図る。																											
		小目標 良好な住環境整備を図る。																											
		上之地区は幅員4m以下の狭隘な道路とスプロール化した住宅が点在して、住環境面、交通安全面、防災面において課題を有している。このため、土地区画整理事業を実施し、都市計画道路、区画道路、下水等の面的整備を行い、良好な宅地の利用増進を図ることを目標とする。																											
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		814		A		814		B		0		C		0		D		0		効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）				0		%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和 3 年度		令和 7 年度
1	・街路築造整備率の向上 街路整備済延長÷街路総延長にて街路整備率を測定する。	37%	%	42%
2	・地区内世帯数の増加 住環境の整備を行い、住民票により地区内世帯数を測定する。	1305世帯	世帯	1340世帯

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	熊谷市	直接	熊谷市	-	-	上之地区土地再生区画整 理事業	区画整理 A = 53ha	熊谷市						814		-	
												小計						814		
											合計						814			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	
配分額 (a)	5	58	56	33	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	5	58	56	33	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	5	58	56	33	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 上之地区都市再生整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]